

醍醐古墳群説明会資料

昭和60年5月19日

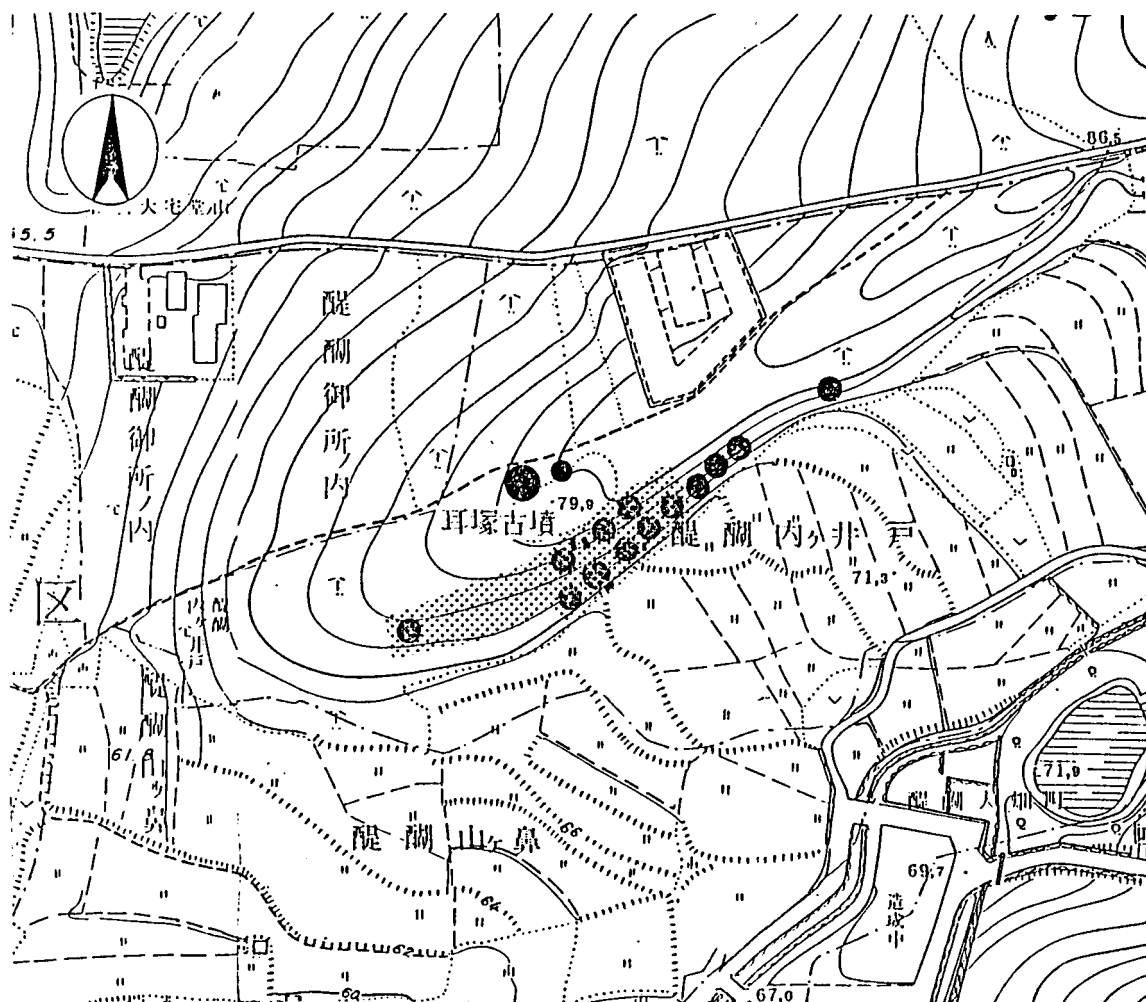
調査古墳 醍醐3・4・8・9・10・11・12・13・15・16・
17・18・19号墳

調査地 京都市伏見区醍醐内ヶ井戸町

調査面積 約2,000㎡

調査期間 昭和60年1月中旬～現在継続中

調査主体 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所



調査地位置図 (1 : 2, 500)

1 はじめに 醍醐耳塚古墳を中心とする醍醐古墳群では、周辺の開発に伴って、なし崩し的に壊されるおそれがあり、今回事前に発掘調査を実施する運びとなった。当古墳群は昭和55年3月にも一部の古墳を調査しているが、今回は丘陵斜面に位置する8基の古墳を対象に全面調査を実施した。

2 調査の成果

A 今回の調査で新たに5基の古墳(15～19号墳)を発見した。このうちの4基は小石室の古墳である。13号墳の周辺にも別の古墳が想定でき、総数は20基以上に達するものと思われる。

B 古墳の主体部には横穴式石室と小石室がある。前者は7基あり両袖式(11号墳)、片袖式(10号墳)、無袖式(8・9・12・17号墳)の三型式がみられる。後者は5基(3・15・16・18・19号墳)ある。

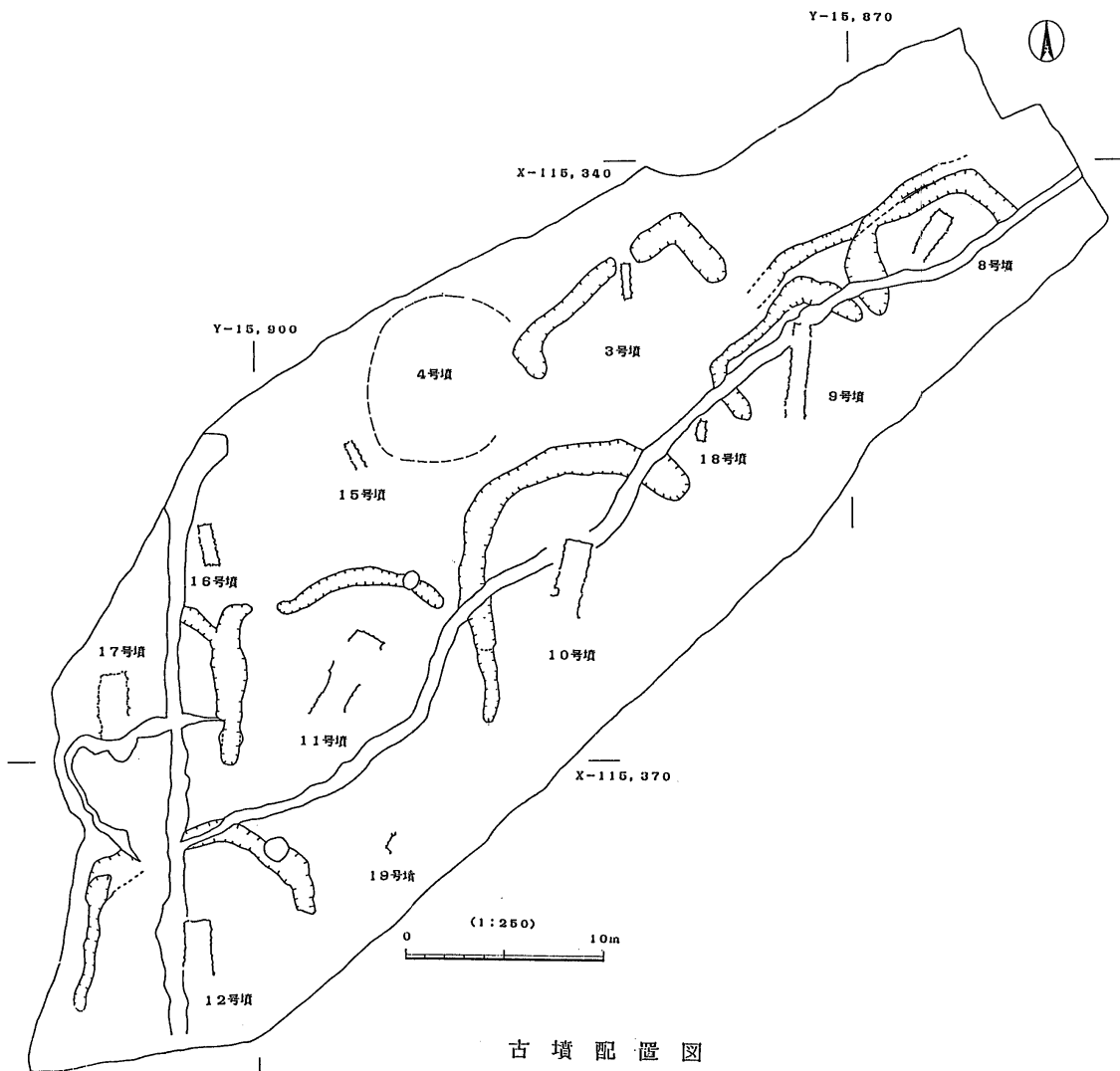
C 墳形には円墳と方墳がある。小型の無袖式石室や小石室は方墳を、両袖式や片袖式の場合は円墳を採用している。15・16・18・19号墳などの小石室においては墳丘が存在したか否かは明らかでない。

D 石室の開口方向は、丘陵の傾斜方向と一致せず、南・南西を向くものが多い。

E 遺物は主に横穴式石室の古墳から出土している。須恵器が多く、杯・蓋・高杯・短頸壺・長頸壺・提瓶・平瓶などがある。金属製品には、釘・刀子・鉋・鋤先などがある。この他、金環・銀環が合計20個出土した。

F 10・11号墳からは7世紀後半の土器が出土しており、石室が再利用されたことが想定できる。

3 まとめ この古墳群は、通常の群集墳より若干時期の新らしい7世紀初頭を中心に築かれた古墳群である。円墳と方墳で構成されることや、無袖式石室を中心にその周辺に小石室がみられることなどの特色は、旭山古墳群(山科区上花山旭山町・1978年調査)に類似する点が多い。しかし、円墳が存在することや石室規模がやや大きいことなど、一般的な群集墳により近い要素も指摘できる。この古墳群の中央に位置する耳塚古墳は、6世紀後半の築造とみられ、その卓越した規模から相当の有力者を葬った墳墓とみられるので耳塚古墳の築造を契機に、生前に関わりをもった集団が丘陵斜面に相次いで造墓した結果この古墳群が形成されたものと想定できる。山科盆地では、この他に中臣遺跡や中臣十三塚古墳群などの遺跡が知られているが、十三塚・旭山古墳群では消滅した古墳が多いだけに当古墳群は山科盆地の古代史を復原する上で欠かせない遺跡といえるであろう。



古墳配置图



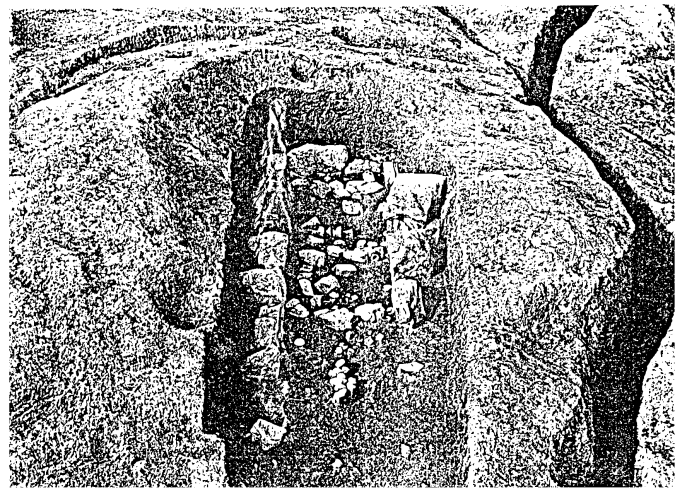
醍醐古墳群一覽表

※ 今回調査古墳

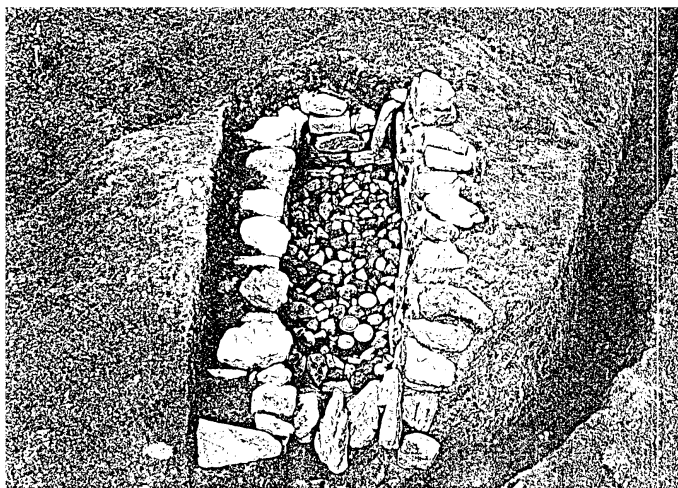
古墳名	墳丘	主体部	出土遺物(主体部)	備考
1号墳 (耳塚古墳)	円墳 径約2.5m 高約3.5m	横穴式石室?	周溝より須恵器(杯・蓋・壺・甕)	1980年3月調査
2号墳	円墳 径約10m	小石室 長2.2m 幅0.65m N1°E	杯2 釘5	1980年3月調査
3号墳	方墳 一辺約8.7m 周溝	小石室 長1.7m 幅0.45~0.3m N2°W	なし	1980年3月調査
4号墳			須恵器2(有蓋高杯1 同蓋1) 金環1	
5・6・7号				東側の竹藪にあり
8号墳	方墳 一辺約6.0m 周溝	横穴式石室(無袖式) 敷石 長3.5m以上 幅0.9~0.7m N33°E	須恵器10(杯3 蓋3 長頸壺1 脚付長頸壺1 無頸壺1 無蓋高杯1) 鏃1	
9号墳	方墳 一辺約6.0m 周溝	横穴式石室(無袖式) 棺台石 長4.9m以上 幅0.8~0.9m N6°E	須恵器8(杯3 蓋2 短頸壺1 平瓶2)	1980年3月調査
10号墳	円墳 径約10m 周溝	横穴式石室(片袖式) 棺台石 全長3.7m以上 玄室長2.47m 幅1.3m 羨道幅1.07m N13°E	須恵器10(杯3 蓋3 有蓋高杯1 無蓋高杯1 提瓶1 平瓶1) 土師器杯2 釘3 金・銀環3 不明鉄器1	7世紀後半に再利用
11号墳	円墳 径約12.5m 周溝	横穴式石室(両袖式) 棺台石 全長5.0m以上 玄室長2.5m 幅1.5m 羨道幅1.3m N30°E	須恵器16(杯3 蓋5 長頸壺1 脚付長頸壺2 壺1 無蓋高杯1 他3) 釘9 鋤先1 銀環4	7世紀後半に再利用
12号墳	円墳 径約10m 周溝	横穴式石室(無袖式) 棺台石 全長2.7m以上 幅1.3m N1°W	須恵器5(杯1 脚付長頸壺1 無蓋高杯1 高杯蓋 1 提瓶1) 銀環4	
13号墳				調査中
14号墳	方墳 一辺約10m 周溝	横穴式石室(無袖式) 棺台石 全長3.9m以上 幅1.2~1.0m N14°E	須恵器4(脚付長頸壺1 無蓋高杯2 提瓶1) 刀1 鏃7 刀子2	1984年2月調査
15号墳	不明	小石室 長1.1m 幅0.5m 床面に炭層 N26°W	なし	
16号墳	不明	小石室 長2.06m 幅0.66m N11°W	なし	
17号墳	円墳 一辺約10m	横穴式石室(無袖式) 全長3.5m以上 幅1.4m N1°E	須恵器3(杯2 高杯蓋1) 鏃3 刀子2 鏃1 鈍1 金・銀環6	
18号墳	不明	小石室 長0.94m 幅0.28~0.45m 敷石 N4°E	なし	
19号墳	不明	小石室 長0.6m以上 幅0.35m以上 N38°E	銀環2	



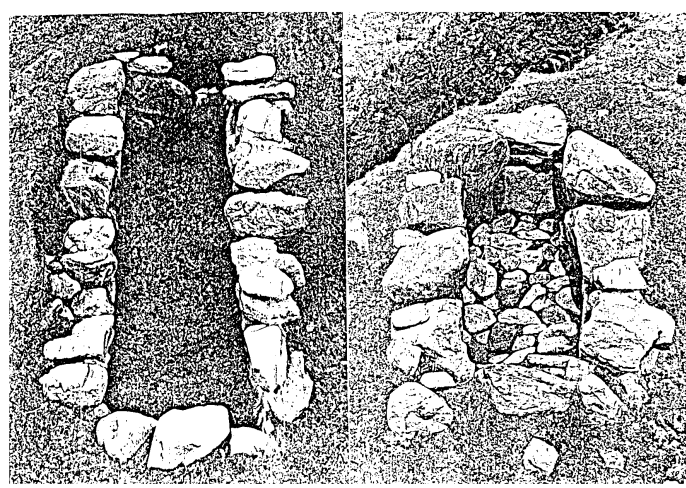
古墳群全景(中央は10号墳・南西から)



11号墳全景(南西から)



8号墳全景(南西から)



16号墳全景(南から)

18号墳全景(南から)